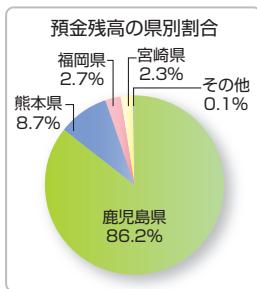
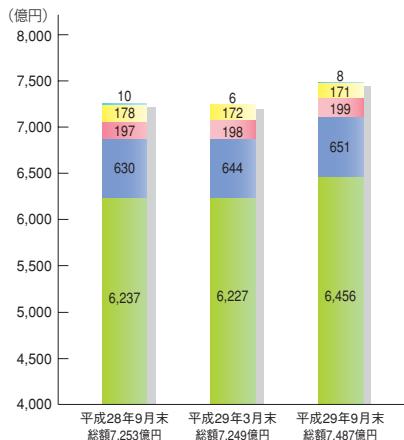


平成29年9月期 決算概要(単体)

● 預 金

預金(期末残高)は、各種キャンペーンの展開などによる個人預金等の増加により、平成29年3月末に比べ、238億円増加して7,487億円となりました。

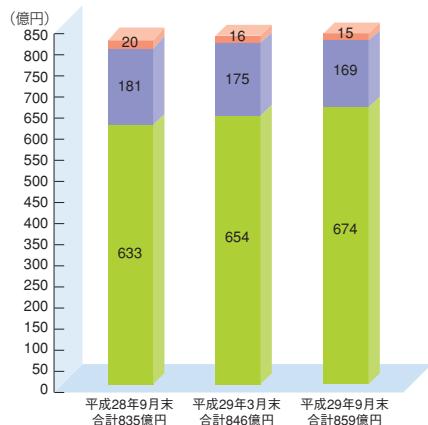
● 預金残高の推移



● 預り資産残高

預り資産は、個人年金保険等が増加したことから、平成29年3月末に比べて12億円増加の859億円となりました。

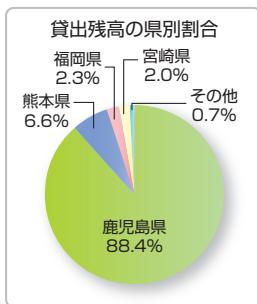
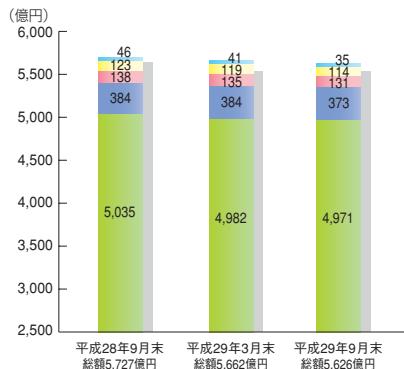
● 預り資産残高推移



● 貸 出 金

貸出金(期末残高)は、法人や個人のお客様の資金ニーズに積極的にお応えしましたが、資金需要の減少などにより、平成29年3月末に比べ、36億円減少して5,626億円となりました。

● 貸出金残高の推移



● 自己資本比率

自己資本比率は貸出金や有価証券などの総資産(リスクアセット)に対する自己資本(資本金内部留保など)の割合を示すもので、銀行の健全性や安全性をみるうえで重要な指標となっております。

平成29年9月末の自己資本比率は、平成29年3月末に比べ0.08%低下し8.61%となりました。

なお、国内で業務を行う銀行の基準である4%を大きく上回っております。

